

市民の文化にスポットライト

ぶんかのみ



ぶんかのみ vol.1

愛知県立刈谷東高等学校教諭
演劇部顧問
ひょうどう・ともひこ 1964年、愛知県生まれ。
早稲田大学卒業。刈谷東高等学校演劇部を全国高等学校演劇大会出場に導き、文部科学大臣奨励賞、中日賞など多数の賞を受賞している。著書に「今、ここにあなたといふこと」(角川学芸出版)がある。



演劇コミュニケーション

文化芸術に携わっている市民の文化にスポットライトをあて、ご紹介していくコーナーの第1回目のゲストは、愛知県立刈谷東高等学校教諭、演劇部顧問の兵藤友彦先生です。突然ですが、皆さんは「演劇表現」というものをご存知でしょうか?これは、刈谷東高等学校で行われている授業のことです。「演劇は、お互いのリアルな気持ちを本気でぶつけ合って表現するもの。その演劇のレッスンを使って、他人とのコミュニケーションの取り方を知ることがこの授業の目的なんです」と兵藤先生。何らかの悩みを抱え不登校を経験したことのある生徒が多いこの学校の演劇部顧問としての経験を基に作り上げられた「自分の気持ちを表現する方法」を学べるこの授業は、学校以外の様々な場所でもワークショップとして400回以上開催されています。

そしてなんと刈谷東高等学校では生徒さんと一緒にこの授業に参加してくれる一般の方を募集しているそうです。「毎週月曜日の1、2時間目に開催しているので、ご希望される方は是非ご連絡ください。」とのこと。興味のあるそこのアナタ! 参加してみてはいかがですか?

詳細は文化工房かりやのブログに掲載中です。
Blog: <http://www.bkkariya.wordpress.com>

ここは芸術の市場

いろんなジャンルの人たちが日頃の成果をここで披露いたします。
お散歩がてら、ふらりと立ち寄って、
ちょっと気になるものを見つけてみてはいかがでしょう。

artMarché アールマルシェ

アールマルシェは、総合文化センターのアトリウムで開催する無料イベントです。文化芸術と言われると、なんだか敷居が高い印象を受けますよね。「もっと気軽に楽しめて、しかも出演もできないかな」そんな思いでスタートしたのがこの企画です。出演者は刈谷市民や在勤在学の方々です。皆さんに、文化芸術を気楽で身近に感じられる、催しにしていきます。

アールマルシェ：名称の由来。フランス語の単語を組合せた造語です。アール（art）は芸術のこと。マルシェ（marche）は市場で、つまり“芸術市場”です。アールマルシェが文化芸術に触れる「きっかけ」になればと願い、名付けました。

文化・芸術とアイリスを身近なものに。

文化工房 カリヤ

市民目線の文化発信、「みんなで文化、創造中。」

〒448-0858 愛知県刈谷市若松町2-104
TEL:0566-21-7430/FAX:0566-21-7440
mail:bunkakobo@kariya.hall-info.jp



Twitter : @B_K_kariya
 Facebook : bunkakouboukariya
 Blog : bkkariya.wordpress.com

BUN-KA

Kariya Culture

vol.1

創刊号
2012.10.01
発行

新しい文化にスポットライト



文化工房 カリヤは、“市民が文化芸術にふれあえる場をつくります。”

AQ.

- 舞台公演の企画・広報、公演開催で必要となる会場受付のノウハウ等の習得
- アイリスのアトリウムでの研修の一貫として小ホールでの公演を企画・運営
- 市民自ら発する文化活動
- 文化工房かりやの情報誌作りやブログをはじめ、様々なメディアでの情報提供をしております。

取り組みは？

AQ.

- 刈谷に魅力的な文化を取り入れ、アイリスをもっと多くの人々が集う身近な場所にしていきます。活動を通じて人と人が繋がり、さらに刈谷文化が織り成す糸を魅力あふれるまちづくりとして紡いでいきます。
- 刈谷市とアイリスと共に文化芸術を発信するボランティア団体で、活動の拠点は刈谷市総合文化センターA棟です。

文化工房 カリヤ つて何？

文化工房 カリヤ

刈谷を

“ミュージカルのまち”

にしたいんだ

アイリス・小ホールを ブロードウェイにしよう！

文化工房かりやの今年の演目はミュージカルの名場面を紡ぐ「ミュージカル・ハイライト」に決定。準備スタッフの4名に、今回の公演や刈谷の未来について思いを熱く語っていただきました。

■座談会参加者：右ページ集合写真左から、久保田 大貴、井野 由美子、野村 敏子、山崎 敦子、小森 義史(いずれも文化工房かりやスタッフ)

刈谷とミュージカル－密な関係－

旧市民会館および総合文化センター「アイリス」で開催されたミュージカル作品です。ご覧になられた方も多いのでは？「文化工房かりや」はもっと多くの皆さんに身近にミュージカルを楽しんでもらいたい。そんな公演を企画していきます。



アイリス・ミュージカル・ヒストリー

- 2006年 劇団四季 「人間になりたがった猫」
- 劇団四季 「コーラスライン」
- 2007年 劇団四季 「ユタと不思議な仲間たち」
- 2008年 劇団四季 「人間になりましたがった猫」
- 2010年 劇団四季 「ファミリーミュージカル～嵐の中の子どもたち」
- 劇団四季 「ソング&ダンス 55ステップス」
- 市民音楽劇「万燈の輝く夜に」
- 劇団飛行船「スイートプリキュア♪ミュージカルショー」
- パンク・オペラ 「時計じかけのオレンジ」
- ブロードウェイミュージカル 「ピーターパン」
- 2011年 劇団四季 「王様の耳はロバの耳」

文化工房かりやの公演準備スタッフが語る!!

刈谷市民座談会



ミュージカルって楽しい

井野 いろんなお芝居やコンサートに行くのが大好きで、ミュージカルと初めて出会ったのは、3歳のころなんだけど、中学の時に母に連れられて行った映画「サウンド・オブ・ミュージック」に感動して、そこからどんどんハマっていったの。

野村 井野さんとは同級生で、中学時代から彼女が「劇団四季だ！宝塚だ！」って楽しそうに話しているの私は横目に見ていたの。だけど、高校の文化祭で有志がミュージカルをやっているのを見て、「いいな。楽しそう！」って…。で、翌年うちのクラスでもミュージカルをやっちゃいました(笑)

山崎 もう一人ミュージカル好きなメンバーもいるし、そんな3人がいるからこの企画も大成功するって思っているよ。楽しみだわ。

ミュージカルの宝石箱

野村 「ミュージカルハイライト」は、ミュージカルの有名なシーンだけをピックアップしたものだから、ミュージカルを見たことのない方でも一度は耳にしたことのあるおなじみの曲が次々とでてくるし、初めての方にも楽しんでいただけるようになっているわよね。



刈谷をミュージカルのまちに

井野 もともと刈谷って、ミュージカルと縁があるのよね。旧市民会館時代にも劇団四季の子供ミュージカルとか良く来ていたわよね。

野村 刈谷市総合文化センター アイリスのオープニングの時にも来ていたしね。ちょうど、市民も参加できるコーナーがあって、私達も参加させてもらったり。この公演をきっかけに、ミュージカルを好きになってくれる人がどんどん増えてほしいな。

井野 そのうち「刈谷といえばミュージカル」っていうくらいになったら楽しいわよね。

山崎 そうね、本当にそうなったら楽しいわ。そのためにもがんばりましょうね。



「ミュージカルハイライト」の演出家に ミュージカルの魅力を聞く。

ミュージカルは世界で最も新しく、もっとも人気のあるエンターテインメント。

演出家 森泉 博行 氏

日本劇作家協会委員
日本演出家協会会員
現在、名古屋芸術大学 音楽学部 教授

ブロードウェイ作品の演出、シェイクスピア作品のミュージカル化など多くの創作ミュージカルの作・演出を担当。
東宝、松竹、ジャニーズなどのステージも手がける。主な作品は「MASK」「SHOCK」「Dream Boys」「滝沢歌舞城」など。



ブロードウェイの劇場で上演されているはずです。ミュージカルは観客の皆様も参加するエンターテインメントです。ブロードウェイのヒット作品を一気に上演する「ミュージカル・ハイライト」。ご存じの歌と一緒に歌い、リズムを取りながらお楽しみ頂ければ幸いです。

このようなミュージカルが誕生したのは120年ほど前、日本での初上演は80年ほど前のことです。美しく感動的な歌、躍動するダンス、ドラマチックな物語に彩られたミュージカルは、たち

まちに多くの人を魅了し、「エンターテインメントの王様」と呼ばれるようになりました。ミュージカルの本拠地であるニューヨーク・ブロードウェイには数多くの劇場があり、連日華やかなショーが上演されています。これらの作品は、初日は決まっていても千秋楽は決まっていません。観客が来る限り上演し続ける「ロングラン・システム」が基本だからです。現在、その世界記録を持っているのが『オペラ座の怪人』で、初日から21年間も上演され続けています。さて、今回の「ミュージカル・ハイライト」は、「総合文化センター アイリスをブロードウェイにしよう！」という趣旨で公演します。プログラムは、現在ブロードウェイで上演中の作品を中心に組まれています。皆様がご覧になるミュージカルの名場面は、その夜も、それぞれ